

遊佐家が国の有形文化財に登録 江戸中期の古民家を改修し快適生活

中田町石森の遊佐家が、11月18日に開かれた文部科学省文化審議会で、国の有形文化財に登録されることが決まりました。

有形文化財とは、建築50年を経過した建築物や土木構造物、工物で、歴史的景観を保ち、再現することが難しいものなどをいいます。国の有形文化財には、登録

文化財と指定文化財があり、現状変更には強い規制のある指定文化財に比べ、登録文化財は改修も可能です。

登録された建築物は、江戸時代中期から昭和初期に建てられた母屋、広間、土蔵、味噌蔵などの6件。母屋は寄せ棟造りで、腐食や沈下が激しく、これまで何度も補修を加えてきました。

一昨年、寒さをしのぐため、屋根や内外壁、床に断熱材を使用し、暗い部屋には天窓を取り付けるなどの改修工事を実施していますが、古民家の重厚さは失われていません。

所有者の遊佐桂さんは「改修前はとても寒かった。今ではストーブをたけば母屋全体が温まり、快適に暮らしています」と話します。



①改修した母屋 (174.79㎡) ②母屋の内装は昔から使用していた部材を残しています③土蔵 (21.85㎡) ④味噌蔵 (14.27㎡) ⑤馬屋 (65.92㎡) ⑥広間 (65.29㎡) ⑦板倉 (22.37㎡)

多くの力作が見物人を魅了 市美術協会展

第7回市美術協会展(市美術協会主催)が11月20日から27日までの8日間、登米祝祭劇場で開催されました。

展示された作品は、会員が制作した水彩画や油絵などの18点で、その多くが全国や県内の美術展に出展された作品となっています。

オープニングセレモニーに出席した市長は「高校生絵画展なども開かれ、美術に対する関心が高まっている。絵画を見てみると、作者の感性が伝わり、自分の創造性も膨らんでくる。会員の皆さんには、子どもたちの指導や後継者の育成にも励んでいただきたい」とあいさつしました。

会長の千葉隆一さん(石越町)は「今回はバラエティー



心温まる作品が数々展示されました

にとんだ作品が展示できたので、見やすかったと思う。今後も良い作品を皆さんに見てもらい、市の美術発展につなげたい」と話しました。

展示された作品は次のとおりです。(敬称略)

■「MEDITATION」
99「Dream, 04 moon」
及川英之「春の訪れ」
後藤熊夫「辺境(天と地)」
星健悦「春くりこま」
竜飛漁港三森正(以上迫)「ポロブドウ」
追想Ⅲ「森の詩」
及川澄子(東和)「水辺」
「わたしの庭」
佐藤恵子(中田)「冬の朝」
紫陽花」
三浦亨(米山)「Aviilaの聖堂」
「ローマの裏通り」
千葉隆一「碎石場」
「秋景」
村松利平「重奏」
佐藤裕子(以上石越)

宝くじ助成でイベント用品を整備



市で助成を受けて設置した南方緑地公園内のハイブリット防犯灯(※)

市内のコミュニティ協議会など15団体と市では、平成17年度「コミュニティ助成事業(宝くじ助成事業)」を受け、祭り用具や各種イベントで活用できる備品などを整備しました。

この事業は、財団法人自治総合センターが宝くじ受託収入を財源に、コミュニティ組織などの健全な発展と宝くじの普及広報を目的として実施しています。

購入した備品などは次のとおりです。

※太陽光と風力をエネルギー源としたもので、通常電力を必要としないため、災害時でも防犯灯としての機能を十分に発揮します。

実施団体名称	購入備品
森地区コミュニティ推進協議会(山)	宮太鼓、締小太鼓、会議テーブル、ブルーヒーター、薄型デジタルテレビ・アンテナ、デジタルカメラ、プリンター、プロジェクター、スクリーン
鉄砲町町内会(登米)	締太鼓、祭りはんてん、腹掛け、股引き
九日町町内会(登米)	締小太鼓、祭りはんてん
三日町町内会(登米)	祭りはんてん、はんてん帯、テント
中町町内会(登米)	宮太鼓、締小太鼓、太鼓台、祭りはんてん、発電機
細野神楽保存会(東和)	神楽面、舞はかま、千早、手甲、陣羽織、毛采、鶏かぶと、天冠、烏帽子、はんてん、胴着、マイクセット、スピーカー、舞台幕
馬の足振興会(東和)	アンプ、スピーカー、マイクセット、カラオケ機器、プロジェクター、スクリーン、ビデオカメラ
綱木夢創の会(東和)	大太鼓、小太鼓、横笛、胴着、前垂、当り鉦
五日町町内会(東和)	ポータブルステージ、取付幕板、プロジェクター、スクリーン、DVDレコーダ、スピーカー、アンプ、マイクセット、デジタルカメラ、パネル、ケーブル
錦織4区会(東和)	プロジェクター、スクリーン、DVDレコーダ、アンプ、スピーカーセット、カラオケセット
錦織城内町内会(東和)	ブルーヒーター、大型画面テレビ・アンテナ、DVDレコーダ、カラオケ機材・ソフト、パソコン、食器棚、座卓、パイプイス、テント、ホワイトボード、オープンレンジ
嵯峨立神楽保存会(東和)	舞はかま、千早、振袖、装束、陣羽織、はんてん、鶏かぶと、胴着、烏帽子、籠手、アンプ、スピーカーセット、マイクセット
石森コミュニティ運営協議会(中田)	模擬店用テント、長テーブル、発電機、移動式かまど
豊里町町内会等連合会(豊里)	大太鼓、締め太鼓、当り鉦鹿、手平鉦、投光機、発電機、コードリール
中津山地区コミュニティ推進協議会(米山)	集合テント、液晶プロジェクター、パソコン、カセットデッキ
登米市	町内会ロゴマーク入紅白幕(登米町)
登米市	ハイブリット防犯灯(南方町)



走塁方法を真剣な表情で学ぶ団員たち

少年少女野球教室(市スポーツ少年団野球協議会主催)が11月20日、迫町光ヶ丘球場で開催され、市内21のスポーツ少年団から、団員や指導員、保護者ら350人が参加しました。

協議会結成20周年を記念し、

基本練習を学びレベル向上 元プロ選手を招き野球教室

元プロ選手を招き野球教室

野球の基本練習方法を学んでもらおうと開催したもので、津山町出身の佐々木信行氏(元ロッテ2軍監督)ら6人が講師を務めました。

チームごとに走塁方法の指導を受けた後、バッテリ、内野手、外野手の3つのグループに分かれ、キャッチボールやバッティング、守備の練習方法を学びました。

西郷ライオンズのキャプテンで、西郷小6年の板垣洋也君は「元プロ野球選手に正しい走塁・捕球方法を教えてもらって、とても勉強になりました。これからも野球を続け、将来は尊敬するジャイアンツの小久保選手みたいな選手になりたいです」と話しました。



正しい球のにぎりや送球動作などを学びました